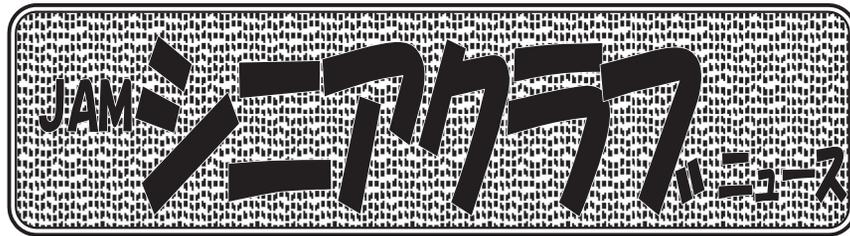


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第199号

発行日 2024年7月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本部内 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

主張



上は、絶対に
連、電機連合、基幹労連も、組織
である、U Aゼンセン、自動車総
うはいきません。民間の主要産別
ば余裕の選挙が、可能ですが、そ
水の泡と消え
るものであり、
選挙に出る以
ならぬ努力が、
35万人の組合員と家族を含めれ
ば余裕の選挙が、可能ですが、そ
点一か「100点満点」しかあり
ません。落選となれば、莫大な選
挙資金と、動員、加盟単組の並々
なれば、

来年7月に実施される参議院議
員選挙「郡山りよう」の必勝に向
けた、支援拡大のJAMとしての
政策実現活動がスタートしました。
JAMの挑戦として、過去、藤
川氏、田中氏と2回、善戦しまし
たが、苦杯をなめました。今回は
三度目の正直の選挙になります。
選挙は、試験に例えれば、「0
点一か「100点満点」しかあり
ません。落選となれば、莫大な選
挙資金と、動員、加盟単組の並々

郡山りよう必勝に向け

JAM大阪シニアクラブ
代表幹事 清水謙一

勝つ取組みに繋げねばなりません。
JAMの組織規模は、35万人
で、連合の中で5番目の組織を誇
る大組織です。国会議員が複数人
いてもおかしくない組織であり、
数の割に国会議員は、せいぜい1
〜2名、前回の選挙で議席を失う
産別もありました。
過去から自分なりに分析をして
いますが、民間産別の組織数に対
して、参議院選挙での各産別候補
の獲得票は、組織数の30%以下
の票しか取れていません。組合員
は一体誰に投票したのでしょうか？
一方で、同じ民間産別でも電力総
連は、約20万人の組織ですが、
この組織数を大幅に上回る票を獲
得し確実に当選を果たしています。
背景には電力産業の課題や経営
の発展に向けて、労使が一体となっ
て取り組んでいる？一方で、組合
員への投票の徹底度合いが他産別
とは大きく違っているものと思わ
れます。
一例を言いますと、選挙期間は、
組合員に、組合事務所「投票済
証明書」を持参させ、組合員の投
票を確実にフオローするといった、
戦略を駆使しているようです。
いずれにしても、来年の参議院
議員選挙は、三度目の正直であり、
何としても議席を獲得せねばなり
ません。今、与党の政治資金問題
で、内閣支持率も下がり、我々、
野党にはフオローの風が吹いてい
ます。絶好のチャンスであり、J
AMの現・退が一丸となつて、
「郡山りよう」の必勝に向けて、
共に頑張つて参りましょう！



政策課題ワーキンググループ 第3回委員会を開催

〜年内の最終報告に向けた作業を確認〜

今後の医療、介護、年金、
子ども・子育て支援の見直
しにどのようなスタンスを
とるのか、JAMシニアク
ラブとして幹事会を中心
に議論していくための課題整
理と資料作成を目的に活動
を開始した「政策課題ワー
キンググループ」が第3回
の委員会を開催しました。
4月26日に開催された第
2回委員会で5つの小グルー
プ（A子ども・子育て、B
高齢者医療、C介護保険、
D介護労働者の労働条件、
E高齢者の生活実態）より
資料収集と項目の検討課題
について報告があり、この
内容を5月21日開催の第2

回幹事会に報告しました。
第3回委員会では、各小グ
ループの追加報告のあと、
最終報告書の組立について
論議、解決すべき課題と論
点について再度各小グルー
プで検討し、整理した内容
を10月15日の第4回委員会
に報告し合うことを確認し
ました。
なお、年金問題について
は7月に「財政検証」が発
表されたあと、課題につい
て一定の整理をすることに
しました。

第5回三役会議を開催

7月3日(火)政策課題ワー
キンググループの会議に引
き続き第5回三役会議を開
催、三役全員が出席しまし
た。会議では、①2025
年度活動方針案、②202



4年度会計報告、③202
5年度定期総会、④政策制
度学習会補助金の交付、⑤
第3回幹事会、⑥2025
年度年間日程等について協
議しました。活動方針案は
7月25日の第3回幹事会に
提案されます。

郡山りよう

◆プロフィール

誕生日：1974年2月24日
出身：熊本県人吉市
血液型：A型
家族：妻、長男、次男、三男
熊本県多良木高等学校普通科卒業
武蔵精密工業株式会社に入社
武蔵精密労働組合 執行委員長、書記長などを歴任
JAM組織内候補予定者・基幹労連候補予定者に決定

◆郡山りよう3つの政策

「ものづくり」「中小」を基盤とした
くにづくり

公正で安心できる
価値を認めあう社会

働く者の尊厳を守る
ワークルール

退職者連合 年金財政検証の学 習会に参加

JAMシニア
会長 大山勝也

日本退職者連合は定期総会の前日の7月16日に全国代表者会議を開催し、その中で7月3日に公表された公的年金の財政をチェックして将来の給付水準を見通す「財政検証」について学習会を行いました。講師は厚生労働省年金局年金課の若林健吾年金課長です。若林年金課長の講演「財政検証報告から年金改正に向けて」から2025年年金改正に係る概要を報告します。

財政検証は、物価や賃金の上昇率、労働力人口の変化や経済成長の見込みに応じ、年金財政がこの先100年にわたって維持できるかチェックするもので、5年に一度実施しています。今回は、前提が異なる4通りのシナリオを仮定し、給付額を試算しています。2019年検証と2024年検証を比較し、高齢者や女性らの就労拡大により保険料の収入の増加を見込み、年金財政にプラスに働き、所得代替率（公的年金の給付水準を示す指標。現役男子の平均手取り収入額に対する年金

額の比率）は少し改善するとしていきます。

足下（2023年度）の財政状況について厚生年金被保険者数が19年検証の見込み4425万人から実績21兆円から291兆円へと増加したことなどを踏まえています。

足下2024年度の所得代替率は61・2%ですが、4通りのシナリオのうち成長型経済移行・継続ケースは、実質賃金上昇率1・5%、実質経済成長率1・1%（参考）で所得代替率57・6%（2037年度）、過去30年投影ケースは、実質賃金上昇率0・5%、実質成長率マイナス0・1%（2057年度）と下がります。

2025年年金改正との関連で報告された事項は6点です。

第1に被用者保険の適用拡大では2024年10月から50人超の企業等まで適用範囲が拡大され、さらに拡大に向けた検討が行われます。

第2に遺族年金については、女性と男性で異なっている給付の開始時期等が検討されます。

第3に第3号被保険者制度については、2022年10月末日時点で第3号被保険者総数735万2千人のうち非就業者・不詳が325万7千人いることを踏まえると、連合から廃止という提言もあるが「年収の壁」問題を中心に検討されます。

第4に在職老齢年金については、現行の賃金十老齢厚生年金が50万円を超えた場合に賃金上昇額の2分の1相当の厚生年金保険給付が停止されていますが、高齢期の働き方との関連で停止を廃止することを含めて検討されます。

第5に基礎年金（1階）と報酬比例部分（2階）に係るマクロ経済スライドの調整期間を一致させるかどうかの検討です。一致させない現行で進むと、成長型経済移行・継続ケースでは報酬比例部分が2025年度以降調整不要、基礎年金部分の調整終了が2037年度となり、過去30年投影ケースでは報酬比例部分の調整終了が2026年度、基礎年金部分の調整終了が2057年度となります。一致させた場合のデータが示されましたが、一致させる手段等に踏み込んだ説明はありませんでした。

第6に基礎年金の拠出期間の延長については、今回は検討が先送りされるとの報告でした。

公表に対して清水事務局長談話を発表し、「基礎年金の給付水準の底上げ」の重要性を強く主張しています。その要旨は次の通りです。

基礎年金の給付水準2024年度の36・2%から2057年度25・5%まで低下する見通しであり（過去30年投影ケース）、樂觀的に受け止めるべきではない。基礎年金の給付水準の低下は、公的年金制度が持つ所得再分配機能や防貧機能を弱めるため、底上げが急務である。

誰もが安心してくらすことのできる年金制度の構築をめざし、国庫負担割合の引き上げなどによる基礎年金の給付水準の底上げの実現に向けて、構成組織・地方連合会・連合本部一体となって取り組みを進める。

誰かが安心してくらすことのできる年金制度の構築をめざし、国庫負担割合の引き上げなどによる基礎年金の給付水準の底上げの実現に向けて、構成組織・地方連合会・連合本部一体となって取り組みを進める。

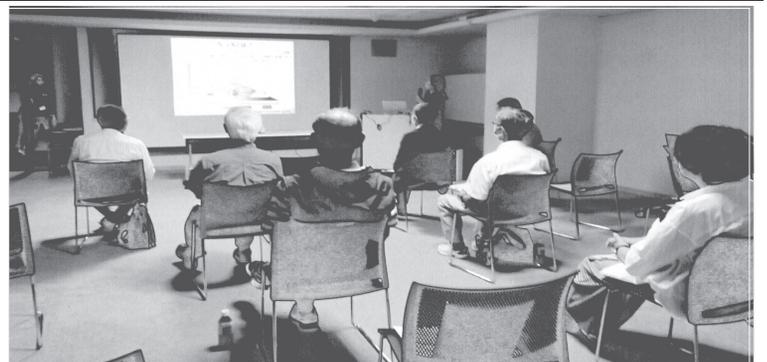
連合本部は7月4日、公的年金に関する財政検証の

愛知 研修・懇親会を 開催

事務局長 澤山棋正

6月5日JAM愛知シニアクラブは研修・懇親会として、愛知健康プラザにて、「フレイル対策の講話と食事会」を開催しました。

フレイル対策は私たちシニアにとって必須であるという幹事の認識のもと、話だけでなく実技も習おう！ということ、保健師と運動指導員がそろっている大府の「愛知健康プラザ」に



出かけることとなりました。あいにく参加者10名と少なかったが、実技指導の中で、ストレッチの予備的体操に関する質問や同じ動作でも効果が異なると言われていることなどに関する質問が相次いで、指導員から「みなさんの関心の高さに驚いた」という発言もありました。

昼食は健康プラザお勧めの「ヘルシー定食」を食べながらの懇談で、参加した会員からは、「こんな機会がないとなかなかこんな話は聞けないし、実技指導も分かりやすかった。他の会員にも聞いてほしい」という感想が語られ、企画した役員の宿題となりました。

京都 開催 グラウンドゴルフを

通信員 伊藤忠男

今年で21回目となるJAM京都シニア・グラウンドゴルフ大会が、梅雨入り前の猛暑となった6月11日に村田機械グラウンドで、各退職者組織から28名が参加して実施されました。

今年はJAM滋賀シニアのグラウンドゴルフ大会に、JAM京都シニアから4名が参加、そして今大会には、JAM滋賀シニアから同顧問の福井さん（日本精工大津）、同幹事の岡崎さん（テイラド滋賀）の2名が参加し、お互いの交流とゲームを楽しみました。

